行動認識モデルを用いた 柔道試合動画からの一本判定

陸煒 盛 拓矢 北島 栄司 宮田 龍太

(琉球大学大学院, † Equal contribution)



【目次】

1. 背景と目的

- 誤審とVARの導入
- 一本/技ありの定義
- 一本・時間切れを分類できるAIモデル構築

2. データと方法

- データセットの構成
- 方法·手順
- 検証内容



3. 結果と考察

- 結果・考察
- まとめ・今後の展開

【背景①】世紀の誤審

- シドニー五輪、篠原vsドゥイエ
 - 内また透かしで1本を主審が見抜けず、ドゥイエの有効と誤審
 - その後、ビデオ判定を正式採用



【背景②】VARとは

- VAR(video assistant referee)システム
 - フィールドに立つ審判から見えづらい状況をサポート
 - 三笘の1ミリ



三笘薫"奇跡の1ミリ"「ボールが完全にエリア外に出る前に拾っていた」 https://number.bunshun.jp/articles/-/855640

【大目標】柔道の試合に使える VARシステムをAIで構築

- ステップ1:動画から一本か時間切れかを分類する←今日ここ
- ステップ2:技ありも分類できるように





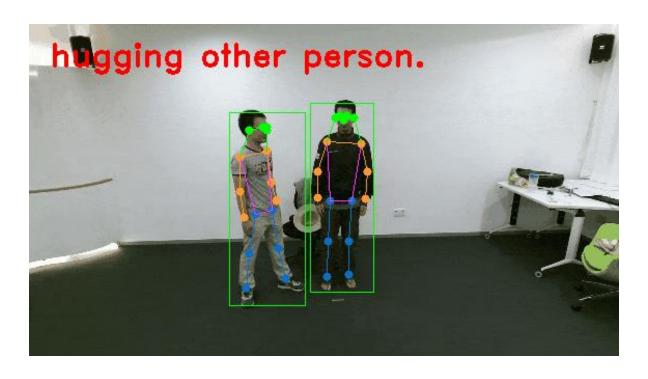
【問題点】投技における一本の四条件

- 相手を制していること
- 相手の背が畳に付いていること
- 投げに強さがあること
- 投げが速いこと

•••どれも感覚的で熟練者にしかわからない

【解決方策】行動認識モデル

• 動画から特定の動作を検出するAI



MMAction2: Skeleton-base Action Recognition ハッグの動作が自動的に認識されることができる

https://github.com/open-mmlab/mmaction2

【目的】AIモデル構築

• 動画から一本と時間切れを行動認識モデルで分類







【目次】

1. 背景と目的

- 誤審とVARの導入
- 一本/技ありの定義
- 一本・時間切れを分類できるAIモデル構築

2. データと方法

- データセットの構成
- 方法•手順
- 検証内容



3. 結果と考察

- 結果・考察
- まとめ・今後の展開

【データ】投技判定前の3秒間を使用

• サンプル数が最も多かった内股に着目



2018WCB_81_P2_MORALES Tomas_ARG_KASWANGA Andrew_ZAM

提案手法の全体像



元動画



手順1:審判の領域追従



手順2:審判の映り込みを削除



手順3:両選手に着目



手順4:姿勢推定モデルで 関節座標を取得



手順5:行動認識モデルで 一本か時間切れか分類

【手順1・2】審判の映り込みを除去

- 審判の動作を見て判定するチートAIを作らないために
 - XMemで領域追従
 - ProPainterで審判の映り込みを除去





XMem: Chen Ho Kei, et al. (2022) ECCV

ProPainter: https://github.com/sczhou/ProPainter

【手順3】両選手の領域を自動追従

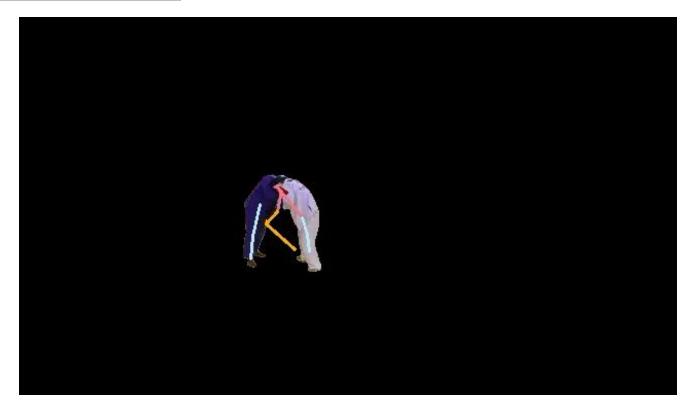
- テキストプロンプト: 黄色いコートにいる青と白の人
- langSAMで両選手に着目



langSAM: https://github.com/luca-medeiros/lang-segment-anything

【手順4】姿勢推定 (マーカーレスモーションキャプチャ)

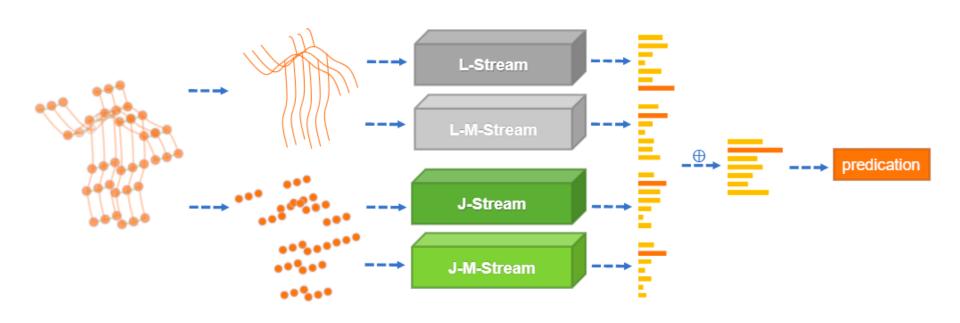
- 動画から自動で人物の関節位置を取得するAI
- DeepLabCutを使用



元動画と合わせて可視化した結果

【手順5】行動認識モデルで一本判定

• MMAction2を使用(一本か時間切れの2クラス分類)



【検証】データセットの内訳

データ数	label 0 内股一本	label 1 時間切れ
トレーニング	55	57
テスト	16	16

提供データから 2018-2021世界大会の動画を使用 合わせて内股一本動画を71、時間切れを73本

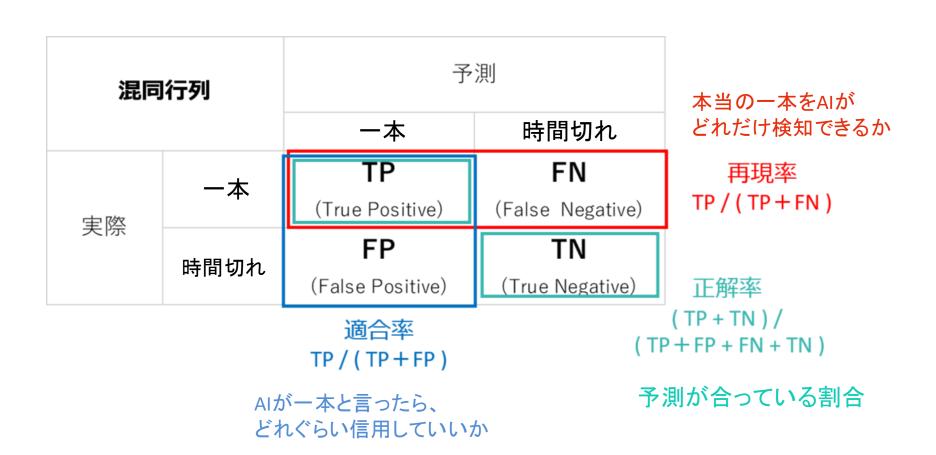


内股一本(例)



時間切れ(例)

【検証】評価指標



【目次】

1. 背景と目的

- 誤審とVARの導入
- 一本/技ありの定義
- 一本・時間切れを分類できるAIモデル構築

2. データと方法

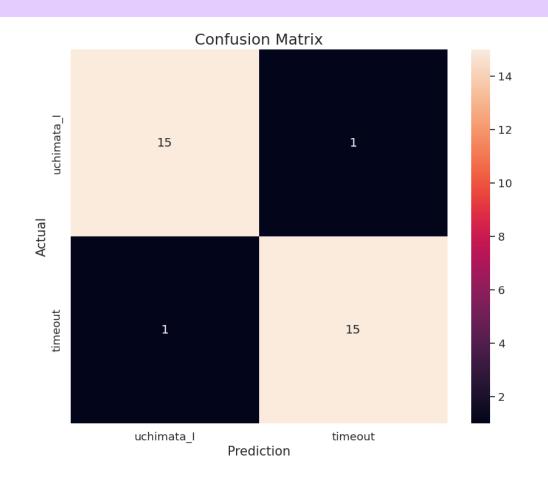
- データセットの構成
- 方法-手順
- 検証内容



3. 結果と考察

- 結果•考察
- まとめ・今後の展開

【結果】混同行列、正解率、適合率、再現率



正解率 0.9375 **予測が合っている割合** 適合率 0.9375 AIが一本といったら、どれぐらい信用していいか 再現率 0.9375 本当の一本をAIがどれだけ検知できるか

【考察1】当てられた一本





• 両選手が画面にはっきり映っている

【考察2】当てられなかった一本





審判の映り込みを除去した動画

取得した関節座標の可視化

- カメラの角度から背中が見づらい、サイズが小さい
- 学習データを増やしたり、カメラを二つ用意したり 対処できるか検討

【考察3】当てられなかった時間切れ



審判の映り込みを除去した動画



取得した関節座標の可視化

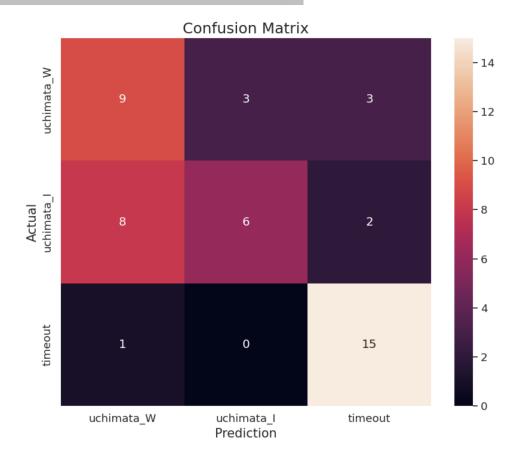
- ・ 確かに背中が畳に付いている(笑
- 学習で使っていた時間切れは組み合っているか離れていたか
- 学習データを増やせば対処できるか検討

【まとめ】

• 行動認識モデルを使って、一本と時間切れを高精度で判定できるモデルを構築した。

【今後の展開】

• 一本と技ありと時間切れの分類



正解率 0.638 いろんな状況を学習しないと、精度が上がらなさそう

【謝辞】

本研究では、『情報・システム研究機構統計数理研究所医療健康データ科学研究センター』の支援および『公益財団法人全日本柔道連盟・科学研究部』よりデータの提供を受けた。

ご清聴ありがとうございました